



大妻多摩中学校

二〇一八(平成30)年度

入学試験問題(第二回)

【国語】

時間 50分

2月2日(金)

【注意事項】

- 1 問題は15ページまであります。
- 2 指示があるまで、この冊子を開いてはいけません。
- 3 答えはすべて、問題の指示に従って解答用紙に記入してください。
- 4 句読点やカギカッコは一字と数えてください。
- 5 ページが抜けていたり、印刷が見えにくい場合には、手をあげて知らせてください。

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。なお、問題文には一部省略した箇所があります。字数制限のある問題は、句読点やカギカッコも一字と数えること。

① ぼくたちは環境に規定されています。「かけがえのない個人」などというものは存在しません。ぼくたちが考えること、思いつくこと、欲望することは、たいてい環境から予測可能なことでしかない。あなたは、あなたの環境から予想される 注1 パラメータの集合でしかない。

そして、多くのひとは、「自分が求めること」と「環境から自分が求められると予測されること」が一致するときこそ、もつともストレスなく、平和に生きることができます。

しかしそれでも、多くのひとは、たったいちどの人生を、かけがえのないものとして生きたいと願っているはずで、環境から統計的に予測されるだけの人生なんてうんざりだと思っているはずで、

ここにこそ、人間を苦しめる大きな矛盾 むじゅん があります。ぼくたちひとりひとは、外側から見れば単なる環境の産物にすぎない。それなのに、内側からはみな「かけがえのない自分」だと感じてしまう。それは哲学的に言えば「主観」と「注2 ②」、あるいは「注2 実存」と「構造」、もう少し最近の哲学風に言えば「分子的」と「モル的」の違いということになりますが、そんな用語を使わなくとも、注3 ③ みたいなことは感じたことがある矛盾ではないかと思えます。

④ その矛盾を乗り越える——少なくとも、乗り越えたようふりをするために有効な方法は、ただひとつ。

もういちど言いますが、環境を意図的に変えることです。環境を変え、考えること、思いつくこと、欲望することそのものが変わる可能性に賭けること。自分が置かれた環境を、自分の意志で壊し、変えていくこと。自分と環境の一致を自ら壊していくこと。グルグルが与えた検索ワードを意図的に裏切ること。

環境が求める自分のすがたに、定期的に 注3 ノイズを忍び込ませること。

抽象的な話ではありません。これはじつはビジネス書にも書いてありそうな、実践的な話でもあります。

⑤ アメリカの社会学者、マーク・グラノヴェッターが一九七〇年代に提唱した有名な概念に、「弱い絆きずな」というものがあります。グラノヴェッターは当時、ボストン郊外に住む三〇〇人弱の男性注4 ホワイトカラーを対象として、ある調査をしました。そこで判明したのは、多くのひとがひととひとの繋つながりを用いて職を見つけている、⑥、高い満足度を得ているのは、職場の上司とか親戚とかではなく、「たまたまパーティで知り合った」といった「弱い絆」をきっかけに転職したひとのほうだということでした。深い知り合いとの関係よりも、浅い知り合いとの関係のほうが、成功のチャンスに繋がっている。

これはいつけん奇妙な結果に見えますが、ちよつと考えてみると当然のことだとわかります。

⑦、いまみなさんが転職を考えているとしてみてください。そのとき、友人や同僚は、みなあなたの現職を知っているし、性格や能力も知っています。だとすれば、どうしても、あなたにとつても⑧な転職先しか紹介してくれません。

それに対して、「パーティでたまたま知り合ったひと」はあなたのことなんてなにも知らない。知らないがゆえに、まったく未知の転職先を紹介してくれる可能性があります。それはすごい勘違かんいである可能性もあるけれど、あなたが知らないあなた自身の適性を発見できる可能性もあるのです。

つまりは、人生の充実のためには、強い絆と弱い絆の双方が必要なのです。

いまのあなたを深めていくには、強い絆が必要です。

⑨ それだけでは、あなたは環境に取り込まれてしまいます。あなたに与えられた入力、ただ出力するだけの機械になつてしまいます。それを乗り越え、あなたの人生をかけたがえのないものにするためには、弱い絆が不可欠です。

世のなかの多くのひとは、リアルな人間関係は強くて、ネットはむしろ浅く広く弱い絆を作るのに向いていると考えている。でもこれは本当はまったく逆です。

⑩ ネットは、強い絆をどんどん強くするメディアです。注5 ミクシイやフェイスブックを考えてみてください。

弱い絆はノイズに満ちたものです。そのノイズこそがチャンスなのだというのがグラノヴェッターの教えです。けれども、現実のネ

ットは、そのようなノイズを排除するための技法をどんどん開発しています。いまのネットでは、「パーティでたまたま隣り合って、めんどうだなと思いつながら話しているうちにだれかを紹介される」という状況を実現するのがとてもむずかしい。めんどうだ、と思つたら、すぐにブロックしたりミュートしたりできるからです。

⑩ではぼくたちはどこで弱い絆を、偶然の出会いを見つければいいのか。

それこそリアルです。

身体の移動であり、旅なのです。

ネットにはノイズがない。だからリアルでノイズをいれる。弱いリアルがあつて、はじめてネットの強さを活かせるのです。

(東浩紀『弱いつながら 検索ワードを探す旅』(幻冬舎))

注1 パラメータ……限定された要素のこと。

注2 実存……実際に存在すること。

注3 ノイズ……雑音。

注4 ホワイトカラー……物の生産には関わらない事務や販売、サービス業につく労働者を指す。

注5 ミクシイやフェイスブック……写真や日記、情報などを共有することによってインターネット上で友人たちと交流できるサービス。

問1 ——線部①「ぼくたちは環境に規定されています」とありますが、それはどのようなことですか。その説明として最も適切な

ものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を答えなさい。

ア 自分自身の感じ方だと信じていることも、先祖代々引き継がれてきた遺伝子によってその感じ方は決められてしまっているということ。

イ 自分自身の感じ方だと信じていることも、偶然そのように感じるようになっただけであり、ものごとの感じ方に必然性はな

ウ 自分自身の考え方だと感じていることも、気がついていないだけで周囲の人たちがそのように考えるように導いているだけであるということ。

エ 自分自身の考えたと感じていることでも、実は自分の住んでいる国や地域、家庭などの環境によって大きな影響を受けてしまっているにすぎないということ。

問2 ②には「主観」とは反対の意味の言葉が入ります。その言葉を漢字で答えなさい。

問3 ——線部③「みないちどは感じたことがある矛盾ではないかと思えます」とありますが、この——線部における「矛盾」とはどのようなものですか。本文中の語句を用いて七十字以内で答えなさい。

問4 ——線部④「その矛盾を乗り越える」とありますが、「その矛盾を乗り越える」ためには、どうすることが必要だと筆者は主張していますか。本文中から十五字以内で抜き出して答えなさい。

問5

(1) ———線部⑤ 「アメリカの社会学者、マーク・グラノヴェターが一九七〇年代に提唱した有名な概念に、『弱い絆』というものがありません」とありますが、「弱い絆」とは具体的にどのようなものですか。その説明として適切なものを、次のア～オの中から二つ選び、その記号を答えなさい。

ア 力が弱いもの同士の関係

イ 関係性が弱い人同士

ウ 偶然出会ったばかりの人たち

エ 昔からよく知っている知り合い同士

オ 初対面で気があった人たち

(2) アメリカの社会学者、マーク・グラノヴェターが一九七〇年代に提唱した「弱い絆」を得ることとどのようなメリットがあると筆者は主張していますか。その説明として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を答えなさい。

ア 自分がこれまで信じていることができなかつた夢を、弱い絆とつながることによって信じられるようになること。

イ 自分がこれまで実現することができなかつた理想を、弱い絆とつながることによって実現できるようになること。

ウ 自分でこれまで気がつくことができなかつた自分の適性を、弱い絆とつながることによって見つけられるようになること。

エ 自分でこれまで適性だと信じていた職業が、改めて自分に向いているということが弱い絆とつながることによってわかるようになること。

問6

⑥・⑦・⑨に入れるのに最も適切な言葉を、次のア～オの中からそれぞれ一つずつ選び、その記号を答えなさい。ただし、同じ記号を二度以上使用しないこと。

- ア けれども イ かりに ウ だから エ あるいは オ しかも

問7

⑧に入れるのに最も適切な言葉を、次のア～エの中から一つ選び、その記号を答えなさい。

- ア 予測可能 イ 達成可能 ウ 創造可能 エ 計測可能

問8

——線部⑩「ネットは、強い絆をどんどん強くするメディアです」とありますが、それはなぜですか。その理由として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、記号を答えなさい。

ア ネットには多くの知識が瞬時に蓄積されていくため、自分が暮らしてきた社会に密着した情報を欲しい時に欲しいだけに入れる仕組みが整っているから。

イ ネットには付き合うのが面倒で手間がかかる人とも、すぐにつながることでできる仕組みが整っているため、そのような人と付き合うことが避けて通れないから。

ウ ネットには時間をかけて検索することで、自分にとって好ましくないものを取り除き、自分がこれまで避けてきた多くの人たちと知り合う仕組みが整っているから。

エ ネットには面倒で手間がかかり自分にとって好ましくない者をすぐに排除できる仕組みが整っているため、結果として自分がよく知っている好ましい者とばかり交流するようになってしまうから。

問9 —線部⑩「ではぼくたちはどこで弱い絆を、偶然の出会いを見つけるべきなのか。それこそリアルです。身体の移動であ

り、旅なのです」とありますが、インターネットが発達し、あらゆる情報が家にいてもすぐに手に入る現代において、「旅をする」ということについてどう考えますか。あなたの考えを、百字以内で書きなさい。

二

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。なお、本文中の表記は原文のままにしてあります。字数制限のある問題は、句読点やカギカッコも一字と数えること。

保険の営業マンの僕(坂本司)、中学時代からの僕の親友で素人探偵鳥井真一、僕のお客さんの木村栄三郎さんは、動物園ボランティアの松谷明子さんと安次朗さんに頼まれて、動物園の周りで起きていた猫の虐待問題を解決しようとして調査していた。

①不意に、目の前に小さなビニール袋が出された。ジッパーで口の閉まるタイプのものだ。中には、なにやら茶色い粒と灰色の物体が入っている。

「これは……?」

『「こんにちはセツト」です。よかったら坂本さんもいかがですか』

ポケットサイズの袋を、松谷さんは皆に配った。

「私、動物が大好きだから、いつもこれを持って歩いてるんです。犬用と猫用があつて、中身はドッグフードや煮干しです。お散歩中に会った子たちと、これでコミュニケーションをとろうと思って」

「なるほど。明子ちゃんは本当に優しいねえ」

②相好を崩して、安次朗さんがそれを受け取る。つられるように僕もそれを受け取ったが、
③鳥井は頑として拒否した。なぜだか
栄三郎さんまで。

「おれはそういう形であいつらと関わる気はないんですよ。悪いね」

「そう……ですか」

きつぱりと言った栄三郎さんを、松谷さんは微妙な表情で見た。悲しい風ではなく、理解できないといった雰囲気だった。

《中略》

それから動物園へ行くまでの間に、僕はせめて鳥井の役に立てることはないかと考えたが、これといった案は思い浮かばなかった。

④、探偵自身が僕に頼んだことといえば、猫缶、つまりキャットフードの買い出しだけだった。

外回りと称して栄三郎さんの家へ行くと、久しぶりに利明くんが来て炬燵にあたっていた。中学校の制服のままということは、また授業をさぼってきたのかもしれない。

「よお、坂木さん。じいさんなら奥だよ。今出てくる」

相変わらず髪の毛の毛がつんつんと尖ってはいるけど、彼の印象はずいぶんと柔らかくなった。利明くんもまた、鳥井の推理によって呪縛から解き放たれた一人だ。

「寒いから早くこたつに入んなよ。ほら。ミケだっているし」

利明くんがこたつ布団をめくると、中には大きな三毛猫がいかにも居心地良さそうに目を細めている。

「あれ、でも栄三郎さんは猫が好きじゃないんじゃないか」

「へえ、なんで？ じいさん、かなりの動物好きだぜ。じゃなきゃこいつが毎日のようにここへ遊びにくるわけねえし」

⑤、動物園で栄三郎さんは松谷さんに勧められた餌のセットを断っていた気がする。台所から手を拭いながら出てきた栄三郎さんにたずねてみると、意外な答が返ってきた。

「ああ、おれは動物が嫌いじゃないね」

「じゃあ、どうしてあのかきは」

僕の質問に、栄三郎さんはほんの少し顔をしかめる。

「なんとなく、気に入らなかつた。それだけさ。多分しんちゃんも同じ雰囲気を感じてたんだろう」

「気に入らない？ なんだよ、それ」

興味津々といった風情で、利明くんが身を乗り出した。その拍子にこたつ板がぐらりと傾き、湯のみが滑ってゆく。

「これ、落ちて着かんか」

「わりわり。大人しくしてるから」

栄三郎さんに頭をはたかれて、利明くんは首をすくめた。栄三郎さんは手早く僕のお茶をいれながら、説明してくれる。

「なんていうかな、卑怯ひきょうな話かもしれないねえんだが、おれはあの子みたいに注1博愛主義にはなれないんだよ。けど、この近所に住む生き物ならなんとかしてやろうと思うね」

⑥ 「どうしてこの近所だけなんだ？」

大人しくすると言っていた舌の根も乾かぬうちに、利明くんが質問した。栄三郎さんはそれに苦笑しつつも、答える。

「おれは神様じゃないからさ」

「どういうことでしょう」

「責任、てことだよ。坂木さん、あんたは何か事件や事故があったとき、しんちゃんと自分の家族以外の人間に手を回せるかね？」

いきなり質問を返された僕は、とっさに災害の現場などを思い浮かべてみた。瓦礫がれきの中にいる鳥井。そして家族。命に順番なんてつけられないし、考えたくはないけど。

「……きつと、他の人は後回しになるでしょうね」

「そういうこと。人間、本気で責任を持つて抱え込めるものごとなんて両手の指の数くらいしかないとおれは思うのさ。動物も同じ。

どんなに可哀相かわいそうでも、おれにはあそこの猫まで抱え込むことはできない。近所に住んでるこいつの分くらいなら、責任を取れるけどな」

こたつから首を出したミケの頭を撫なでながら、利明くんは口をとがらせた。

「なんだか冷てえの。栄三郎さん、もつとアツいじじいかと思つてたのに」

「ならお前さん、自分の小遣いで何十匹もの猫を食わせていけるのかい？ 場所は？ 病気になったときの医療費は？」

⑦ 矢継ぎ早つに質問を浴びせかけられ、利明くんは

⑧ ぐつと言葉に詰まる。 A

「ちえ。そういう言い方すんのかよ。でも、できれば助けたっていう気持ちで否定することはないんじゃないかねえの」

「それなりの覚悟がある人になら、わざわざこんなことは言わんよ。ただ、あの子にはそれがなかった。だからお断りしたのさ」

僕はこのとき、珍しく榮三郎さんの言葉に反感を覚えた。だって、利明くんの言うように「⁹ そうしたい気持ち」だけでも大切なんじゃないかと思ったからだ。 B

「坂木さん、納得いかないって顔してるね」

「え？ いえ、そんな僕は……」

考えていることがそのまま顔に出てしまったのだろうか。うろたえる僕を見て、榮三郎さんがにやりと笑う。 C

「いいさ。坂木さんが納得できないのはよくわかるよ。あんたはそれでいいんだ」

「いや、でも……」

言葉に詰まった僕の目の前で、利明くんが手をひらひらと振った。 D

「いいじゃん、意見が違ったって。俺、最近わかったんだ」

「何が？」

「違って当たり前なんだな、っていうこと。だって ¹⁰ 人間はいないんだからさ、 ¹¹ こと考えるのが ¹² なんだよ。そ

れを ¹³ 同じにしようとするから、いじめとか仲間外れが起こるんだよな。違うなら違うで、話し合って近寄ればいいだけのこ

とでさ」

なんだか、利明くんがいきなり大人になったような気がした。彼は、僕がまだ越えられないでいた壁をやすやすと越えていたのだ。

僕はなんだか、大人のくせに利明くんに置いて行かれたような気分になる。 ¹⁴ 、僕はまだ人と違ってしまうことを怖がって

るからだ。

注1 博愛主義……全ての人々を広く平等に愛そうとする考え。

問1 ——線部①「不意に」、②「相好を崩して」、⑦「矢継ぎ早」の意味として最も適切なものを、次のア～エの中からそれぞれ一つずつ選び、その記号を答えなさい。

- ① 「不意に」
ア 突然
イ 強引に
ウ あつという間
エ 気づかないうちに
- ② 「相好を崩して」
ア 嫌な顔をして
イ 楽な姿勢になって
ウ なれなれしくして
エ にこやかな表情になって
- ⑦ 「矢継ぎ早」
ア 素早く行うこと
イ 交代して行うこと
ウ 続けざまに行うこと
エ まっすぐ進むこと

問2 ——線部③「鳥井は頑として拒否した」とありますが、それはなぜですか。その理由として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を答えなさい。

- ア 自分の知らない犬や猫にえさをやることは、飼っている犬や猫にとって気にくわない裏切りのように思ったから。
- イ ずっと世話をする覚悟もないのに、えさをやってその時だけかわいがる無責任な行動が気にくわないと思ったから。
- ウ 明子がえさをやって仲良くなった犬や猫だから、自分がもらったえさで仲良くなるのはいけないことだと思ったから。
- エ 散歩中に出会った犬や猫には、もう二度と会えないかもしれないので、ビニール袋に入っているえさだけでは足りないと思っただから。

問3 ④・⑤・⑭に入れるのに最も適切なものを、次のア～オの中からそれぞれ一つずつ選び、その記号を答えなさい。ただし、同じ記号を二度以上使用しないこと。

- ア しかし イ だから ウ なぜなら エ しかも オ もし

問4

——線部⑥「どうしてこの近所だけなんだ？」の質問の答えとなる、次の文の [] に入れるのに最も適切な言葉を、本文中から六字で抜き出して答えなさい。

近所の猫だけなら、
[] から。

問5

——線部⑧「ぐっと言葉に詰まる」とありますが、それはなぜですか。その理由として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を答えなさい。

ア 思いもよらないほどひどいことを言われ、怒りで頭の中が真っ白になって言葉にならなかったから。

イ 言いたいことがたくさんありすぎて、何から言ったらよいかわからず言い返すことができなかったから。

ウ 急に多くの質問をされて、何からどのように答えたらよいのかわからなくなり、考えこんでしまったから。

エ 言われたことが全部もつともなことだと思えるので、反論したいが何も言い返すことができなかったから。

問6

本文には、次の一文が抜けています。この一文を入れるのに最も適切な箇所を、本文中の [A] [] [D] の中から一つ選び、その記号を答えなさい。

そう、たとえ何の力にもなれなくなつたって、優しい心は必要なんだ。

問7

——線部⑨「そうしたい気持ち」の「そうしたい」が指し示す内容を、本文中から十字以内で抜き出して答えなさい。

問8

⑩・⑪・⑫・⑬に入る言葉の組み合わせとして最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を答えなさい。

- | | | | | |
|---|------|------|------|--------|
| ア | ⑩ 同じ | ⑪ 違う | ⑫ 当然 | ⑬ 無理やり |
| イ | ⑩ 違う | ⑪ 同じ | ⑫ 必然 | ⑬ 急に |
| ウ | ⑩ 同じ | ⑪ 違う | ⑫ 必然 | ⑬ 急に |
| エ | ⑩ 違う | ⑪ 同じ | ⑫ 当然 | ⑬ 無理やり |

問9

線部「こんにちははセット」についてどう思いますか。あなたの考えを、具体的に百字以内で書きなさい。

三 次の各問いに答えなさい。

問1 次の各文の——線部のカタカナを、それぞれ漢字に直しなさい。

- ① 様々な問題がハツカクする。
- ② マンションのカンリ費用を支払う。
- ③ 逃げられないようにホウイする。
- ④ 働き方カイカクを進める。
- ⑤ 台風が日本レットウに近づく。

問2 次の各文には、間違った漢字が使われています。例に従って、その漢字を一字抜き出し、それぞれ正しく書き直しなさい。

例 今日の天候には私の気持ち**が**反英している。 (誤) 英 ↓ (正) 映

- ① 課題をみんなで話し合**つて**剣討する。
- ② 真相を開明する。
- ③ 選択肢は復数あ**つた**ほうが良い。
- ④ 適切な反断で間違**いは**なかった。
- ⑤ 記憶に**ない**と強く主張する。

以下余白

